

第7回名古屋市生徒会サミット 2019

実施報告書



主催：NPO 教育支援協会東海

共催：名古屋市教育委員会

後援：名古屋市立小中学校校長会
名古屋市

協力：ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
地元企業サポーター

日時：2019年8月2日（金） 10:00 開始
 17:00 終了

場所：名古屋市昭和区御器所通3丁目12番の1
御器所ステーションビル名古屋市高齢者就業支援センター
5階大会議室

■趣旨

名古屋市の次世代リーダー達が一堂に集い、他者や地域のことを真剣に考え、未来の名古屋に貢献できる真のグローバルリーダーを育成する。

■内容

中学生の祭典「チュー祭」のコンセプトを、『名古屋を中学生から盛り上げ、全国に発信する』とし、2020年開催予定の中学生の祭典「チュー祭」に向けて、名古屋市のリーダーとして、中学生の祭りをどんな祭りにしたいかを熟議し、提案する。

■参加校 19校 65名 (順不同)

桜田中学校 大曾根中学校 今池中学校 名南中学校 笈瀬中学校 山田東中学校 菊井中学校
長良中学校 あずま中学校 富士中学校 御田中学校 大江中学校 浄心中学校 八王子中学校
笹島中学校 大森中学校 昭和橋中学校 藤森中学校 円上中学校

■名古屋市生徒会サミット実行委員

(当日) 西尾太一 伊東晴美 本木沙羅 井上真緒 星野朱美
(準備) 伊藤綾乃 小林亜優 新田海斗 甲斐田真希 鰐部琴 田中美里 伊藤颯

■中学生ファシリテーター

桜田中学校 渡辺輝一 藤森中学校 中村椰津 菊井中学校 岡本安奈



■これまでの経緯

第1回	2013年7月17日(火)	名古屋市教育センター6階研修室	26校 72名
・テーマ「生徒会として行える地域貢献」			
第2回	2014年1月18日(土)	名古屋市立笹島中学校ランチルーム	17校 70名
・テーマ「生徒会として行える地域貢献 3つのテーマで(防災・環境・いじめ撲滅)」			
第3回	2015年9月19日(土)	イーブルなごや2階視聴覚室	16校 70名
・テーマ「地元を盛り上げるアクションプラン」			
第4回	2016年10月29日(土)	御器所ステーションビル5階大会議室	13校 62名
・テーマ「4つのテーマで熟議をしよう(防災・環境・いじめ撲滅・SNSリテラシー)」			
第5回	2017年10月22日(日)	御器所ステーションビル5階大会議室	11校 59名
・テーマ「4つのテーマで熟議をしよう(防災・環境・いじめ撲滅・SNSリテラシー)」			
第6回	2018年10月20日(土)	御器所ステーションビル5階大会議室	8校 35名
・テーマ「チュー祭を盛り上げよう！(4つのテーマの積み上げをどう伝えるか)」			
第7回	2019年8月2日(金)	御器所ステーションビル5階大会議室	19校 65名
・テーマ「チュー祭を盛り上げよう！(4つのテーマ以外でチュー祭でやってみたいことを出し合おう！ダイナミックな発想で)」			

■ 日程

時間	内容
9:30 10:00	受付開始 オープニングセレモニー ・司会（全体ファシリテーター）名古屋市生徒会サミット実行委員 本木沙羅 井上真緒 ■映像 中学生の祭典「チュー祭」予告動画 ■主催者あいさつ NPO教育支援協会東海代表 本多功 2020年に開催予定の、中学生の祭典「チュー祭」の発案から今日までの成り立ちと、未来に向けて、若者への期待と参加の中学生に向けてエールを送りました。 ・映像にもあったように、2015年の生徒会サミットで、あるグループから「中学生だけの発想で何かを発信してみたい。そのために中学生の手による一大イベント「チュー祭」を行いたい。身近な課題を中学生が祭りを起こして一機に解決する！」というアクションプランが発表されました。ずっと「この面白い発案を実現させてやりたい」と心に残っていた「チュー祭」が、いよいよ来年2020年に開催される運びとなりました。高校生や大学生の実行委員からも栄のオアシス21でやってみたいという意見が多かったので、今まさに場所の選定中です。その主役は中学生の君たちです。今日は、高校生、大学生の実行委員も中学生の思いを実現するために来てくれます。思い切り、のびのびと、熟議をしてください。 ■アイスブレイク ・実行委員のリードで、アイスブレイクを行いました。 初めて会う他の学校の人たちとも、 アイスブレイクで一機に打ち解けます。

10:40

熟議前半開始

テーマ：「名古屋を盛り上げるアクションプランをつくろう！」

- ・考えてきたプランを10のグループに分かれて出し合いました。
- ・次に、共通項や魅力あるものを見つけながら、出た意見を絞っていきます。



12:00

昼休憩

- ・昼休憩も同じグループで自分の学校の生徒会活動などを交流しました。

12:45

■実行委員のはなし

- ・昨年度サミットに参加した現高校1年生の名古屋市生徒会サミット実行委員 星野朱美が、名古屋市交流団として陸前高田に行ったときの体験談や、これから私たちにとって必要なこと、情報と知識を得て自分の頭でしっかり考えること、そして行動に移すことなど、後半の熟議とその後に向けてエールを送りました。参加の中学生は、先輩からのメッセージを真剣に聞き入っていました。



13:00

熟議後半開始

テーマ：「前半で決めたプランをみんなで練りあげよう！」

- ・ 後半は前半で決めたプランを深めて、具体的なアクションプランにつくりあげます。
- ・ 発表準備をしながら模造紙に作成しました。



15:00

発表（1G 約5分）

■ 1G

「3つのプラン」

①「パイレーツオブ名古屋めし」～食の秘宝～

100種類もある名古屋めしの映画を制作してチュー祭で上映する。キャストが撮影の裏側なども紹介したり、屋台で名古屋本の宣伝もする。

②「しゃちほこの気持ちを考える展」

大きいボードのしゃちほこの絵に来場者にしゃちほこの気持ちを書いて貼ってもらう。良かったコメントはベストアンサーとして発表する。

③「名古屋のとても見やすいハザードマップ」

今のハザードマップは白黒のことが多い。カラフルな色やイラストを使って、小さな子どもやお年寄りにも見やすい地域密着のハザードマップをつくりチュー祭で展示する。



■ 2 G

「名古屋だがや！」～名古屋レボリューション～

①名古屋はアイドルの聖地であることを宣伝して知名度をあげる。

「あずきちゃんとみらいちゃん」というイメージキャラクターで、キャラクターとチュー祭のストーリーをつくり、告知として無料配信する。当日は巨大スクリーンでキャラクターが名古屋をPRする。



②屋台でお祭りの雰囲気づくりをしながら名古屋名物を紹介する。(名古屋名物の赤味噌汁を缶に入れて。エビフライに味噌をかけて。小倉をフレンチトーストにして串に刺してなど) また、食べた後のゴミ箱にも工夫をする。

③VRなどの最新技術で車の運転体験や、名所めぐりの体験コーナーをつくり、交通事故の多い名古屋への啓発をする。

④環境に優しい太陽光で、名古屋に関するものイルミネーションをつくる。

⑤再現型名古屋紹介ビデオ 名古屋城PR (名古屋城型風船配布) 城下町紹介 魅力紹介

⑥オリジナル神社 御朱印やおみくじをつくる。

■ 3 G

「名古屋めしを知ってもらおう！」

①名古屋名物の屋台を出したい

(味噌カツ・きしめん・ひつまぶしなど)

矢場とん、コメダを呼んでモーニングセットを提供してもらう。中学生には、中学生割引を発行する。ランキングを作り発表する。

②大物ゲスト：市長とジャニーズのコラボレーション
河村市長と平野紫耀に名古屋弁で食レポをしてもらう。

③夜はトーチトワリングと花火で、会場全体を盛り上げる。



■ 4 G

「3年C組」～壊れかけた人間関係～



いじめられる側と中立の立場を体感してもらう。

①この企画の理由

知らない間に始まっているいじめの辛さや痛みを知ってもらい、いじめを減らしたい。

②流れ3つのブースを作る。

1のブース：いじめられる側の体験をする。教室に入ると急に静まったり、聞こえる声で悪口を言われる。

2のブース：いじめられる人に共感を求められる中立の立場を体感してもらう。

3のブース：体感してどうだったかアンケートを書いてもらう。これはあくまでも空気感を体感してもらうためなので、ルールを徹底する。メリットは、いじめの一言ひとことが心に刺さり、身をもっていじめられている人の気持ちが分かり、いじめが減ることが期待できる。

■ 5 G

「名古屋の良さを知ってもらおう！」～みんなでもりあげよう～

①チュー祭前にやること

・ポスターやCM・キャラクター募集・市内にうろこ形の付箋を置いて、名古屋のいいところを書いてもらう。
それを集めて当日しゃちほこを作りみんなに見てもらう。

②名鉄に協力してもらい、ナナちゃん人形に着せる服のデザインを、小さな子供にも興味を持ってもらえるよう子どもから大人まで幅広い世代から募集する。

③屋台 名古屋めしや、小中学校の給食の屋台を出し、名古屋めしの美味しさをたくさんの人に知ってもらう。また、レシピや歴史の資料を配布する。

④「スタンプラリー」名古屋に関するクイズを出題し、正解したらスタンプをゲット。

「文字探し」文字を集めると名古屋の魅力を伝えるクイズになる。

⑤チュー祭後に知ってほしいこと・料理・名所・有名人

⑥公式マスコットキャラクターでアピールする（エクササイズエビフライ君・池田倶楽部 758）



■ 6 G

「SDG s in NAGOYA」～持続可能な開発目標名古屋バージョン～

各ミッションをスタンプラリーでまわろう。



①身を守ろう（災害体験・身近なものでつくる防災グッズのブースを設置したい。東日本と繋ぐパネルを設置）

②友達を守ろう（いじめを止める対処法を知る。シュチュエーション動画→決意を書く）

③食を守ろう（中学生名古屋めしコンクールでメニューを募集、投票で人気なものをチュー祭で提供。中学校のランチで投票。地域の人に中学生に作ってもらいたいものを聞く。名古屋めしと言えば！を決める。サイズ別にして、残飯を減らす工夫をする。エコ素材の食器を使う）

④地球を守ろう（名古屋のゴミ分別をアピールしたい！ゴミの分別で、名古屋のゴミ分別はどれくらい名古屋に貢献できるか知ってもらう。正しく分別できるよう学び、たくさんの人に意識してもらう。）

■ 7 G

「名古屋チュー祭スタンプラリー」～名古屋のすごいところを知ってもらいたい～

①目的と思い 2年連続魅力のない街 NO 1 の名古屋の良さをもう一度ふりかえってもらい、うすれかけた名古屋の魅力をみんなに知ってもらいたい。

②期間 チュー祭一週間前から当日まで

③チェックポイント 1 名古屋市科学館 2 テレビ塔
3 東山動植物園 4 熱田神宮 5 大須商店街

④ルール 5 か所周ってスタンプを集めて景品交換。

※期間中はチェックポイントとオアシス 21 を結ぶシャトルバスを運行して、各施設のチケットを特別価格にしよう。





■ 8 G

「チュー祭」をより多くの人たちに知ってもらおう！

- ①「宣伝」テッシュ CM ツイッター ユーチューブ 看板（幅広い年代の方や外国の方にも分かりやすいようにいろいろな国の言葉も記載する。）
当日は動画配信をする。
- ②マスコットキャラクター 兄中ノ助 弟祭ノ助
オリジナルTシャツやグッズ配布に使用。
当日販売するペットボトルにも登場させたい。
- ③「防災」防災関連のクイズを交えたスタンプラリー式の迷路を作る。参加者にはハザードマップのついたフェスタオルやうちわを配布する。うちわには防災対策の豆知識も掲載。
- ④「夏の熱中症対策」チュー祭広場に冷水器を設置する。ミストの設置を増やす。水まき。水鉄砲大会。水風船大会。足湯の水バージョンをつくる。熱中症対策をしっかりと多くの人に参加してもらいたい。
- ⑤「屋台を出店」主に名古屋めしを売る。お店で買うごとに1枚引換券がもらえる。5枚で非常食と交換できる。一緒に防災リュックに入れるもののリストを配布する。

■ 9 G

「防災」～チュー祭をさらに盛り上げる～

- ①オリジナルハザードマップづくり 中学生から見た危険なところなど何でも書いてもらい、1枚の大きなマップを作りチュー祭で掲示する。
- ②防災グッズ 新聞紙でつくる防災グッズのブースを設ける。
- ③災害クイズ 災害の具体的な規模や被害を実際の数値で示す。災害後の暮らしを知ってもらう。
- ④名古屋市内の中学生全員参加！公式ホームページやSNSなどで公式キャラクターを募集。全中学校にパーツを配布し、そのパーツにペットボトルのキャップを貼ってもらう。パーツを組み合わせると一つの巨大なペットボトルアートに仕上げる。環境保全にも繋がるし、全ての中学生が参加するという、団結にも繋がる。



■ 10 G

「NAGOYA OF THE WORLD」～巨大なテーマパークをつくる～

- ①プラウドストリート 水を使ったスイーツづくりの体験や、名古屋友禅、名古屋扇子を買うことができる。
- ②サイトシーイングビレッジ レプリカや巨大な看板で、名古屋城などの名所を展示する。
- ③コラボシティ ドラゴンズ、グランパス、ダイヤモンドドルフィンズなど、プロスポーツ選手や芸能人などのトークショーもあり、大人から子どもまで楽しめるコーナー。



- ④ヒストリータウン 名古屋港の歴史を紹介したり、名古屋港の環境問題についてできるだけ多くの人に知ってもらいたい。名古屋と関わりのある武将とコラボし、楽しく名古屋を知ってもらう。

その他：名古屋市検定を作りたい。5級から1級まで作り、名古屋に関する問題や、普通の文を名古屋弁にするなどの出題で、1級まで昇格すると受験に有利になる。

16:00

エンディングセレモニー

■ 講評 京都造形大学教授 寺脇 研 氏

毎年当サミットに応援に来てくださっている寺脇研先生より、今年もご講評をいただきました。



発表の中で多く出ていた、「発信」には、広く外に向けた発信と、身近な周りの人たちとの確認の意味での発信がある。また、啓発という意味もある。今、ここで考えたことは、名古屋のみならず、日本全体のこと、世界全体のことを考えていると言える。これだけの大都市で、中学生が「チューー祭」ほどの大イベントを行うということは、聞いたことがない。歴史に残るほどのことをやろうとしている。これから、中学生だけでなく、いろいろな人たちに共感をしてもらうためにどうしていくのかまた考えて欲しい。発表では、全員が壇上に出て、全員が役割を持って、全員が発表をしていた。その姿が素晴らしかった。最後に、一人の人の存在が多くの人を永く繋げていること、繋がりのお話しをいただきました。

■生徒会サミット実行委員会の説明

・司会で全体ファシリテーターの本木沙羅が、自分が中学生の時にサミットでファシリテーターをして、その後実行委員会にスカウトされたこと、実行委員会に入って、やりがいを持てたことや、同じ目標に向かって協力し合える仲間に出会えたことを話してくれました。



※机上の飲み物は、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社様より、キレートレモンの差し入れです。

■事後アンケート記入

■集合写真（次ページ）

■サプライズプレゼント（右写真）

・司会で全体ファシリテーターの井上真緒が、「後輩たちに歌のプレゼントです。」と言って世界に一つだけの花を歌ってくれました。



17:00

終了



■中学生参加者の事後アンケートより

1 名古屋市生徒会サミットはどうやって知りましたか？（複数可） 65名全員回答

- | | |
|------------------|-----|
| ①ポスター | 2人 |
| ②先生から | 54人 |
| ③先輩から | 2人 |
| ④今までの参加校だから | 13人 |
| ⑤FacebookなどのSNSで | 1人 |
| ⑥その他（同級生から） | 1人 |

2 感想など

（※以下は事後のアンケートから、抜粋してご紹介させていただきました。また、文章の1部を抜粋しています。）

○最初の方は知らない人ばかりで、人見知りの私はとても緊張してしまいました。しかし、積極的にみんなと意見交換ができ、とても楽しかったです。紙に意見を書き込む時も役割分担をしながら行えたので、自分がとても成長できたと感じる1日になりました。

○昨年よりも1班の人数が少なく、より話し合いができたと思います。また、とても雰囲気良く話し合いができ、発表を聞く時もするときも、楽しくできたと思います。私は2年生なので、チュー祭を盛り上げられるよう頑張りたいと思います。

○今度開催されるチュー祭を見ることができてとてもワクワクした。本番で自分たちの班が考えたものが実現したら嬉しいと思う。

○自分が考えられないことを今日聞けて、とても良い機会になりました。昨年から参加しており、今年は開放的な雰囲気で見えがしやすかったです。この雰囲気を繋げていき、来年のチュー祭を成功させたいです。

○こういった他校の生徒との関わりはとても貴重な経験になるし、様々な意見を取り入れることができるのでいいと思う。また、生徒会役員ということでレベルの高い話し合いができて良かった。ただ、せっかく役員ならば、各校の生徒会、企画について知り、議論をするという、自分たちの学校を良くするための話し合いの時間も欲しかった。今回初めて参加したが、普段関わりのない人と熟議を交わしたり共同作業で発表をつくりあげたりと、あまりできない体験ができたので面白かった。また名古屋が好きになりました。

○熟議は、みんなが意見を自由に出し合い、意見を重ねながら、発表しながら、客観的に、主観的に考えながら1つのものにまとまって行くところが面白くて楽しかったです。

○今回初めて参加して、最初は生徒会の人しかいないから、キッチリやるのかなと思っていましたが、思っていたよりゆるくて楽しかったです。同じグループの人ともだんだん打ち解けることができました。初対面の人と意見を交換してまとめるのは初めての経験でした。オアシスは近所なので来年のチュー祭りには絶対行きたいです。

○前回もこのサミットに参加したが、前より人数が増えていて、いろいろな意見が出て面白いと思った。来年行うチュー祭の具体例などを話し合っているうちに「本当にチュー祭が行われるんだな」と思いワクワクした。今学校で行っている「Gomission」もこの生徒会サミットから出た案と聞いた。その案を先輩たちが持ち帰り、いろいろな工夫を重ねることで「NEW☆Gomission」として活動している。1つの学校という小さな規模ではなく、名古屋市の生徒会役員が集まる大きな会で意見交換ができるのはすごいことだと思う。

○はじめは少し心配でした。しかし、アイスブレイクなどで緊張はなくなり、グループのみんなと楽しく話し合うことができました。そして、みんなで原稿や絵を模造紙に書き、友情が深まったと思います。今日はこのような会を開いてくださり、ありがとうございました。

○昨年も参加していて、今年で2回目なんですけど、去年はガチガチに緊張していて積極的に話に参加できていませんでした。ですが、今年は2回目ということもあり、積極的に話に参加することができて良かったです。また、今年は昨年よりいっそう「チュー祭」のことについて話ができたので良かったです。

○自由に意見を言うことができたので、言いやすかった。いろいろな班の発表を聞いて名古屋について改めて考えさせられました。

○来年に行われる「チュー祭」で、できたらいいなと思う案が自分の班以外の発表を聞いて増えた。私は来年卒業していますが、なにかしらの形で「チュー祭」に参加したいと思いました。大人からしたら中学生にはそんなことはできないと思うことがたくさんあるかもしれませんが、これからそんな考えが少しでも変わっていけばいいなと思いました。

○様々な学校の生徒がこのように意見を交わすのは新鮮でとても貴重な体験でした。参加する前はもっとまじめなサミットかと思いましたが、みんなすごい自由な発想で発表したりしていて驚きました。みんなの意見を1つにまとめるのは、とても難しく感じましたが、まとめていく中でまたさらに新しいより良い意見が生まれていくことを実感しました。

○昼休憩のフリーな時間に他の中学はどのような生徒会活動をしているか、今後何をするのか、たくさんのかことを聞いたので良かった。

○とても良い経験になったし、実際に何をやるかも全く知らないまま今日ここに来ましたが、とても楽しかったです。2020年のチュー祭に向けての提案の出し合いは、想像がどんどんふくらんでいったので、来年がすごく楽しみです。

○違う学校の人たちと話し合う機会はあまりなかったけど、今回の生徒会サミットで様々な自分が思いつかないような意見や考えを聞けてとても楽しかった。そして、名古屋の未来についてあまり考えたことはなかったけど、今回深く考えることができて、身近な「名古屋」をもっと愛することができたと思う。今回の生徒会サミットでは、話し合うことの大切さ、そして今まで自分が思っていたよりもたくさんのかの考えに触れることができ、名古屋について考えるとても良い機会になったと思う。今まで好きだった話し合いが、さらに好きになりました。

○出た意見を誰も否定せず、中学生だけで考えたのは初めてだったから「もしかしたら私の意見が通るかも」と思えてわくわくした。

○他校の生徒会役員が集まり、それぞれの角度から物事を見て意見交換するということが楽しかった。他校で行っている生徒会活動を知り、自分の学校でもやってみたいと思うなど、とても貴重な時間を過ごすことができた。私は事前学習で特産物について考えてきたけど、防災や、本、映画など、いろんな意見を聞くことができて新鮮だった。

○普段関わることのない他校の人と話すことができ、いろいろな考えに触れてとても良い経験ができたと思う。僕は新しいものをつくりだす発想力があまりなく、それを培うことができたと思う。これからもこのような活動に参加してみたいと思う。

○自分たちの班や他の班の発表を聞いてこんな考えがあるんだなという気付きや発表の仕方がとても上手だななど、自分の無力さや周りの人のすごさが分かりました。熟議では、始め緊張する場面も多くありましたが、すぐ打ち解けることができ、楽しい時間を過ごすことができました。

○最初にやった友達の輪のおかげでグループの子と話すことができました。今回私の学校では参加者が一人で、ちゃんと話し合いができるか心配でしたが、話すことができて安心しました。

○「名古屋市生徒会サミット」というようなものがあることを先生から聞いた時に初めて知りました。「今期の執行部なら良い話し合いができると思う」と先生から紹介してもらいました。今回参加してみて、名古屋の発展のためにはたくさんのかことができると知りました。また、将来の名古屋に関わることを考えることができ、いろいろなことを発見できるととても良いきっかけになりました。

○高校生の先輩方や同じグループの人の温かい雰囲気ですべて緊張することなく発言発表することができて嬉しかったです。グループ内では知っている人、友達だった人がいなくて上手く話せるか不安でしたが、とても楽しく、たくさんのかの意見を聞いたり言ったりすることができて面白かったです。他の班の発表を聞いてチュー祭を盛り上げるためにいろんな案が出ていて「こんな風にやればいいんだ」や、「似ているけどこんな理由もあるな」と新しい発見ができました。今回参加することができて本当に良かったです。

○来年のチュー祭のためにも今日の生徒会サミットに参加できて良かったと思った。こういう機会があるのはありがたいことだと思った。普段は学校だけの活動だから「名古屋市」ってなると楽しみだなーと思った。

○3年間参加してきて、まさか本当にチュー祭が実現するとは思っていなかったので驚きです。また、来年チュー祭が実現してその後この生徒会サミットがどのようになっていくのかがとても楽しみです。たくさんの目線からの意見はやはり個人だけとは大きく違い、自分の見方さえも変えてしまうようなものです。毎年そのような体験をし、毎年衝撃を受けています。ちいさなつぼみが大きな花へとつながっていく、そんな現象の途中の場所がこの「生徒会サミット」なんだと実感しました。

○初めて参加してみて参加する前は他の中学校の人たちと話す機会もなかったので楽しみにしていました。生徒会役員をやっていなくても交流できたら「チュー祭」のことをもっと知ってもらえるのではないかと思います。

○名南中としては初の参加だったので、これを機に、これからの後輩に面白さを伝え、名南からの参加人数も増やしていけたらいいなと思います。本当にいい経験になりました。

○先生に伝えられた時はとても重いテーマの会だと思っていましたが、当日参加してみるととてもゆらく楽しい時間を過ごすことができました。機会があればもう一度参加してみたいと思います。来年の「チュー祭」ではどのような企画が行われるか今から楽しみです。

○違う中学校の生徒の仲間たちと何かをやりとげることをしたことがなかったので、最初は不安でしたが、話し合ううちに意見を言い合い、まとめていくことが楽しくなりました。本番の発表では緊張しましたが、結果としてはものすごくいいものになったと思います。今回のサミットに関わったすべての人に感謝したいと思います。

○今日ここへ来るまでは本当に緊張した感じで実はあまり行きたくなかったのですが、ここに着いた時には他の中学校の人とも交流ができて、サミットでも意見を出し合い、とても楽しかった。来年開催されるチュー祭も非常に楽しいものになるのかなと想像ができてとてもワクワクしています。最後にこの生徒会サミット2019に参加したという経験を残りの中学校生活に生かしていきたいと思いました。

○今日1日で意見という無形のもものが次々と形あるものに変えていく一員になれて嬉しかった。半分冗談で軽く口にした意見が周りから興味を受け、具体化し、模造紙へと姿を変えていく様を見ていると自他の繋がりを感じ、面白さを感じた。まだ、平面上の意見たちが2020年に現実の立体へと進化するのが本当に楽しみとなった。2015年のサミット参加生徒のように新しいことを始め、受け継いでいける、そんなことを自分もやってみたいと思った。

○全く初対面の人たちとの話し合いで初めはすごく緊張したが、話してみるとそれぞれが考えを持っていて、すごく話して、楽しい1日になった。チュー祭があることすらも知らなかったが、それで何ができるかいろいろ考えて、もしかしたら自分が考えたことが実現するかもしれないと思うと、このサミットに来て良かったし、私たちだって社会を動かす力があるのではないかって嬉しかった。私たちの学校の生徒会でも学校を良くしていけるよう企画しているが、今日のことを思い出してそれを実現して学校を良くして行けるよう頑張りたいと思った。

○他校の生徒会役員と交流することができ、様々な考えに触れることができました。その経験を自校でも生かしたいです。会長ながら今回が初めての参加でとても不安でしたが、打ち解けると楽しく、「つながり」ができていくのを感じることができました。

○今まで委員会や生徒会の一人として学校について考えることは多くあったが、「名古屋市」という大きな街のためにできることをこんなにも多くの人と意見交換することはなかったので、参加できて良かったと思った。学校でやることはお金のことでできないだろうと思うことも今回は考えずに意見することができたので今まで見てきた話し合いより活発にいろいろな意見があって楽しかった。

○私が考えた案と全く違った意見がたくさん出て「あーそういうのもあるのか」とすごく納得したし、聞いているだけですごく楽しかった。他の班の発表を聞いているとき、すごく表情豊かに発表している人がいて、聞きやすかったし、分かりやすかった。

○普通に毎日を過ごしていたら絶対に味わうことのないワクワクを感じました。自分たちの班だけでなく、他の班の意見も取り入れ、ミックスすることにより、より良い結果を出せると思うので、ここで終わらず来年も参加し、後輩や先輩たちと一緒に頑張っていきたいと思います。

○最初はグループでなじめるか、意見交換ができるか不安でしたが、自分たちなりに良い意見にたどり着けたと思います。名前しか分からなかった「チュー祭」が少しずつ見えてきて、企画が形になって発表出来たとき、生徒会サミットに参加して本当に良かったと思いました。2020年楽しみです。

■おわりに

今回のサミットは昨年度に引き続き、2020年に開催予定の中学生の祭典「チュー祭」をもりあげよう！を大テーマに掲げ、4つのテーマ（防災・環境・いじめ撲滅・SNSリテラシー）以外にチュー祭で行ってみたいことを、自由でダイナミックな発想で考え、熟議しました。

事後アンケートにもあるように、メンバー全員が初対面でのスタートでしたが、他校の生徒会役員と意見を交換しながら、最後に1つのアクションプランを共に創り上げる経験は、「繋がり」を実感できる良い経験になったのではないのでしょうか。

発表では、10のグループから10を大きく超えるアクションプランが生まれました。それぞれプランに対する思いや意義も発表してくれました。昨年度の4つのテーマのアクションプランと合わせて、いよいよ2020年の中学生の祭典「チュー祭」の実現に向けて始動します。

今年度から、高校生実行委員の1期生が高校を卒業したこともあり、「高校生実行委員会」から「名古屋市生徒会サミット実行委員会」と名称を変えました。そして今回20名を超える中学生が新たに加わり、今までこのサミットを牽引してきた先輩たちと共に「チュー祭」を引っ張ることになります。名古屋市の約5万人の中学生全員参加を目指してこの祭典を盛り上げ、「未来の名古屋は私たちが創る」をスローガンにぜひ2020年の中学生の祭典「チュー祭」を成功させましょう。

最後に、このように毎年サミットを継続できますのも、関係各位のご理解とご協力のおかげと、お礼申し上げます。

幣協会は、ふるさとを大切に思い、利他の精神をもってふるさとのために貢献する、そのためには「自分は独りではない」という「絆」を胸に行動できる「日本の未来を担う青少年」を育成すべく、この事業をこれからも末永く継続して行きます。今度とも名古屋市生徒会サミットにご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2019年9月2日

教育支援協会東海専務理事 西尾真由美

問い合わせ先

NPO 法人 教育支援協会東海 代表理事 本多 功
名古屋市西区南川町 297 番地
TEL 052-505-4900 / FAX 052-506-9078

NPO 法人 教育支援協会東海 専務理事 西尾 真由美
E-mail : m.nishio@kyoikushien-tokai.org
mobile : 080-5130-2403 (お問い合わせ電話番号)
URL : <http://kyoikushien-tokai.org>

